

改善報告書

令和元年7月26日

1. 大学名：桜花学園大学

2. 認証評価実施年度：平成28年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1 学生の受入れ

○学芸学部英語学科の収容定員が0.7倍未満となっているため、充足に向けた対応が継続中であるが、改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目：2-1 学生の受入れについて

学芸学部英語学科は開設以来、入学定員を大きく下回る状態が続いたが、平成28年度から入学定員を50名にし、カリキュラムの改善等を行ったことにより、徐々に入学定員充足率が上昇し、平成31年度入学者は定員を達成することができた。また、収容定員充足率においても徐々に上昇し平成31年度初めて0.7を超えた。今後はこの結果を継続できるよう、カリキュラム改革等を進めていく計画である。

	入学者数	在籍者数	収容定員	収容定員に対する割合
令和元年度	55名	152名	200名	0.76
平成30年度	42名	128名	230名	0.56
平成29年度	32名	108名	260名	0.42
平成28年度	24名	114名	290名	0.39
平成27年度	31名	119名	320名	0.37
平成26年度	25名	118名	320名	0.37
平成25年度	38名	115名	320名	0.36

※編入学定員は含まない

*各年度の学校基本調査学芸学部集計値による

	入学者数	入学定員	入学定員に対する割合
令和元年度	55名	50名	1.10
平成30年度	42名	50名	0.84
平成29年度	32名	50名	0.64
平成28年度	24名	50名	0.48
平成27年度	31名	80名	0.39
平成26年度	25名	80名	0.31
平成25年度	38名	80名	0.48

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目 2-1 の資料

・2-1-01 令和元年度外部評価会議資料（認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式2）